

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 砂防課長 江角 功 電話番号 0852-22-5205

事務事業の名称	地すべり対策事業		
目的	(1) 対象	地すべり危険箇所に住居する住民並びに住家等	
	(2) 意図	地すべり災害に対し、県民が安全に暮らせる環境を整備する	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地すべり危険箇所の地すべり災害防止のため、交付金事業、県単地すべり対策事業により、集水井、法枠、杭、集水ボーリング等の地すべり防止施設の整備を行う。</li> <li>地すべり防止施設の機能回復及び機能維持を図るため、県単砂防修繕（地すべり）事業により施設の修繕を行う。</li> <li>当年度発生した地すべり災害により緊急に対処が必要な箇所の保全のため、災害関連緊急地すべり対策事業、県単災害対応緊急地すべり対策事業等を実施する。</li> <li>風水害等により被災した地すべり防止施設を原形に復旧し、機能回復を行うため、補助・県単の公共土木施設災害復旧事業を実施する。</li> </ul>		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	地すべり危険箇所に対し、地すべり災害防止対策を講じた箇所の保全される人口の累計	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			15,050	15,180	15,310	15,440
式・定義	前年度までの保全人口数+当該年度概成箇所の保全人口数	実績値	14,920	15,282	15,519	16,311		
		達成率		101.50	102.20	106.60		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	357,979	569,364
うち一般財源(千円)	11,873	21,766

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成26年度までに地すべり災害から保全された人口は16,311人と目標値(15,310人)を上回っている。  
 ・しかし、県内の地すべり危険箇所275箇所のうち、平成26年度末までに整備を完了した箇所は108箇所と未だ低い水準（整備率39.3%）にあり、多くの県民が土砂災害を被る危険な状況にさらされている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・事業予算の確保に努めるとともに、事業効果の高い箇所の整備を重点的に進めた結果、地すべり災害から保全される人口が目標値を上回った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・県内の地すべり危険箇所275箇所のうち、平成26年度末までに整備を完了した箇所は108箇所と未だ低い水準（整備率39.3%）にあり、多くの県民が土砂災害を被る危険な状況にさらされている。

②困っている状況が発生している「原因」

・現状の限られた予算の中では、整備完了箇所の大幅な増加は望めない。

③原因を解消するための「課題」

・未整備箇所は依然として多く残されていることから、さらに事業予算を確保する必要がある。  
 ・事業効果の高い箇所の整備を引き続き重点的に推進する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・事業予算を確保するとともに、避難所、要配慮者利用施設等事業効果の高い箇所の整備を引き続き重点的に推進する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）